

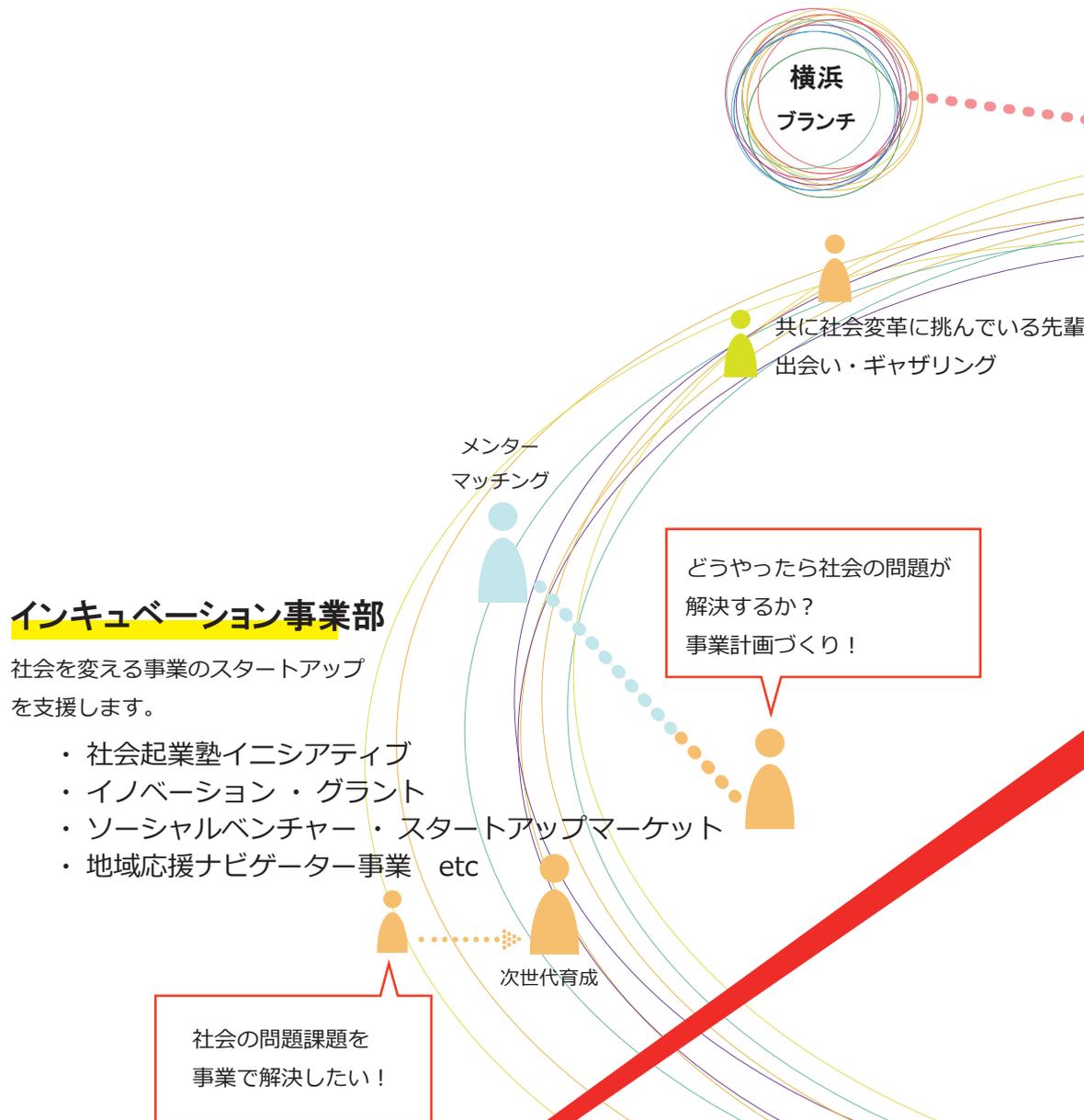
ETIC. Annual Report 2011-2012

NPO法人ETIC. 年間報告書

「起業家精神 - Entrepreneurship -」

自ら考え、行動し、ともに社会の未来を創る。

ETIC. は、起業家精神が育まれる社会づくりを目指します。



ETIC. Social business eco-system

起業家的成長と事業の発展を、有機的に支え合う「生態系」

ます。

コミュニティ展開事業部

日本全国に起業家精神が育まれる
エコシステムの創造を支援します。

- ・ チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト
- ・ 地域イノベーター養成アカデミー
- ・ 地域イノベータープログラム
- ・ 地域ベンチャー留学
- ・ 東京ベンチャー留学

仲間と



右腕募集!

協業先
マッチング

同志募集!

右腕マッチング
起業支援

協業先募集!

インターン
マッチング

震災復興リーダー支援プロジェクト

復興に取り組む地域のリーダーのチャレンジと
事業の発展を支援します。

- ・ 右腕派遣事業
- ・ みちのく起業

インターンシップ事業部

次世代が社会変革に取り組む先人と
共に働くことで起業家精神を育む
トレーニング事業。

次世代育成

- ・ アントレプレナー・インターンシップ・プログラム



2011.3.11

震災復興に発揮される “起業家精神” つながりの中で立ち上がる復興への取り組み。

ETIC、「生態系」の多くの起業家たちが、震災直後から被災地で様々なプロジェクトを立ち上げ、支援の輪を広げました。

株式会社ウインローダー × コベルニク

「緊急物資ソーラータン提供プロジェクト」

本業の運送業を活かし、震災直後より被災地に救援物資を輸送。イノベーション・グラントで支援してきたNPOコベルニクと連携し、電気復旧以前の被災地に灯りをともすソーラータン（途上国用開発商品）を迅速に提供することができた。



SVM
イノベーション・グラント
EIP 受け入れ

島田 昌幸氏

株式会社ファミリア 代表取締役

「東北 ROKU プロジェクト」

宮城県名取市在住。震災2日目からマルシェのネットワークをもとに、避難所での炊き出しを実施。
“被災地に仕事を創る”をミッションにした、名取市（仙台の南）の約1,000坪の土地を活用した農業六次化プロジェクトを開始。
農業の六次産業化とレジャー化をテーマに、畑・野菜加工工場・蕎麦屋・パン屋などを並行して立ち上げていく。
行政の支援を待つのではなく、地元の6名の経営者たちが集い、金融機関から5億円の融資を受けて土地の購入から実施。
このプロジェクトを通じて、障がい者・一般雇用合わせて40名の雇用創出を目指す。



チャレコミ
右腕受け入れ

チャレコミ × 救援物資搬送プロジェクト

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクトの仲間が、被災した仲間の起業家に対して、炊き出し等に必要な物資供給と資金調達を実施。
結果、被災1ヶ月以内で全国各地から相当量の食材や募金活動などを原資に1,000万円を超える援助も実現した。



山中 昌幸氏

NPO 法人 JAE 理事長

大阪府中心に活動をしているNPOの理事長。震災後、宮城南三陸エリアにて、つなプロマネージャーとして被災地の復興に尽力。現在ではビジネスの面で、東北と関西をつなげ活動している。

チャレコミ

川添 高志氏

ケアプロ株式会社 代表

一般社団法人 健診弱者

「避難所・仮設住宅ポ

避難先での状況悪化を防ぐために、簡易検査キットを使った血液検査
宮城県の石巻市湊小学校や南三陸

片貝 英行氏

NPO法人キッズドア 事務局長兼震災対応

「タダゼミ&ガチゼミ」

震災により経済的に困難な状況に陥ったご家庭の中学生向けに東北3県の各拠点にて、大学生等ボランティアによる学習支援
特に中学3年生向けの公立高校の受験対策、高校1~2年生の補強を目的とする。



渡部 慶太氏

石巻復興支援ネットワーク 事務局長

商社勤務を経て参加した、ETICの次世代社会イノベータープログラム修了式
震災が起こり、修了直後に、つなプロマネージャーとして被災地入り。そのご縁で現職となり、石巻の市民生活をサポートする事業を展開している。

NIP 卒業生

代表幹事 川北 秀人氏

(I I H O E 代表 / 社会起業塾塾長)

東日本大震災発生から3日後。
つながりと信頼関係により、迅速に立ち上がった被災者支援プロジェクト。
被災地でこれ以上の死者・状況悪化者を出さないために、被災者の課題や困りごとを発見して、専門性を持つNPO等への支援につなげることをミッションとした合同プロジェクト。
ETICは、つなプロの幹事団体および東京事務局としても活動。
ETICのプログラム卒業生の多くが、初期のプロジェクトマネージャーとして参画した。

原田 剛史氏

一般社団法人東の食の会

「復興を目指す生産者リーダーと東京の食関連企業・組織をつなぐ
食品業界横断型の復興支援プラットフォーム」

大学3年次より農業NPO法人でインターンシップを行い、大手外食事業会社に内定していたが、震災時に立ち上がった「東の食の会」に右腕として参画、その後、現在も事務局として現職に従事。



右腕

EIP 卒業生

長取締役

者を救う会

ランティア保健室プロジェクト」

、および血圧測定を行う「ボランティア保健室」プロジェクトを実施。
町歌津地区などに実施。



社会起業塾

右腕受け入れ

SVM

EIP 卒業生

今村 久美氏

NPO 法人カタリバ 代表理事

放課後学校「コラボ・スクール」

被災地の子どもの学ぶ『場』をつくることをミッションに、
小学生～高校生を対象として7月4日から活動準備を開始、8月4日に本開校。
宮城県女川町とパートナーシップを組み、子供たちの勉強できる環境を提供。2校目は岩手県大槌町にも展開。



社会起業塾

右腕受け入れ

EIP 受け入れ

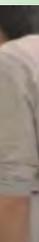
右腕受け入れ

イノベーション・グラント

EIP 卒業生

心担当

、
を行う。
基礎学力の



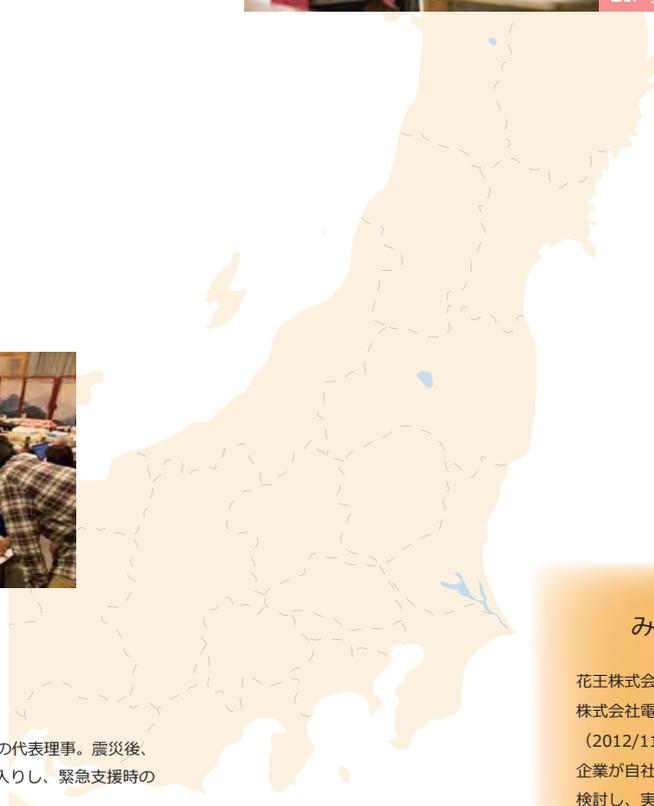
直前で



岩切 準氏

NPO 法人夢職人 代表理事

東京で子ども達の遊び場づくりを行うNPOの代表理事。震災後、
つなプロのエリアマネージャーとして東北入りし、緊急支援時の
被災地支援に従事。



みちのく復興事業パートナーズ

花王株式会社、味の素株式会社、株式会社損害保険ジャパン、
株式会社電通、株式会社ベネッセコーポレーションご参画。
(2012/11月時点)
企業が自社のリソースを活かし支援していくための機会を
検討し、実行につなげていく場といたします。

社会起業塾

動き出した若者世代 ～ “社会起業” へのチャレンジの変化

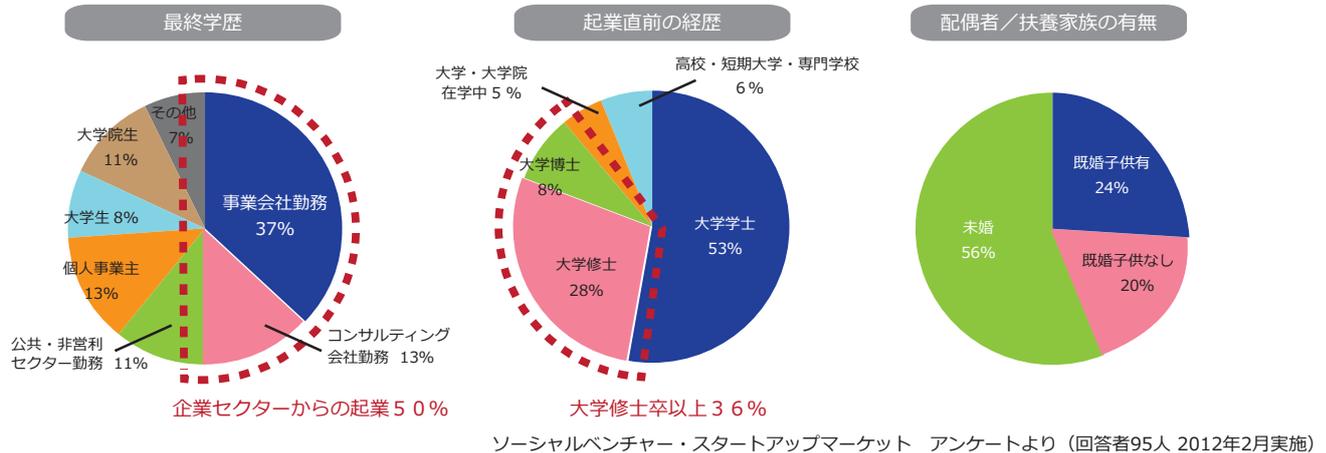
多くの若者世代が、社会起業に注目し行動を起こし始めています。2010年4月～2012年3月まで実施した社会起業家のスタートアップを支援する「ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット (SVM)」(内閣府地域社会雇用創造事業)に、多くの若い世代(39歳以下)がエントリーをしてくれました。



“社会起業” がひとつのキャリアの選択肢に

社会起業を支援する「ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット (SVM)」採択者の傾向より以下のような特徴が伺えました。

- 起業前の職業はコンサルティング会社など、企業に務めていた人が半数。
- 大学修士卒以上が4割と多い。
- 4割強が既婚者。全体の4分の1が子供を育てながら起業。



ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット (SVM) 社会起業家 ご紹介 (一部)



小沼 大地さん
NPO 法人クロスフィールズ
SVM 3期生

一橋大学社会学部・同大学院社会学研究科修了。青年海外協力隊(中東シリア・環境教育)に参加後、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。同社では人材育成領域を専門とし、国内外の小売・製薬業界を中心とした全社改革プロジェクトなどに携わる。2011年3月、NPO法人クロスフィールズ設立のため独立。会社員時代より社会貢献活動に関心を持つ社会人向けのコミュニティ Compass Point を主宰し、これまでに800人を超す参加者を集める。世界経済会議(ダボス会議)のGlobal Shapers Community (GSC) ジャパン2011に選出される。

企業で働く人が新興国 NGO で社会課題の解決に挑む「留職」プログラム

企業で働く人材が一定期間(1ヶ月～12ヶ月)新興国のNPOや行政機関に赴任し、そこで現地の人々とともに本業のスキルを生かして社会課題の解決を行う「留職」プログラムを運営します。このプログラムの提供を通じ、「すべての人が『働くこと』を通じて思い・情熱を実現することのできる世界」と、「NPO企業・行政がパートナーとなり、次々と社会の課題を解決している世界」の実現を目指します。

青沼 愛さん
ek sathe - エクシャテ
SVM 2期生



2004年バングラデシュを訪れ、厳しい現実を目の当たりにし、強い衝撃を受ける。帰国後、バングラデシュの教育支援団体を有志で立ち上げる。アメリカ留学後、外資系ビジネスイベント会社に就職、グローバル企業を対象にした工場管理、マーケティングなど多岐に渡るイベントを担当。その後SRI投資助言やCSR調査を行う会社にてアナリストとして従事。現在はAoyama Business School MBAコースに在籍中。途上国の課題へ様々なアプローチで活動するなか、ビジネスを通じた課題解決に可能性を感じ事業立上げを決意。現在に至る。

バングラデシュでの工場専門カウンセラー 労働環境評価・改善事業

主にバングラデシュに進出を考えている企業を対象に、海外工場の労働環境を調査・評価し、優良な現地工場の育成を促進していきます。生産工場の正確な現状把握をし、そこから抽出された課題をもとに、適切な事業戦略の立案、現地との関係構築、工場内コミュニケーションを促し、工場全体の労働環境を整えます。これにより安定した工場体制、優秀な人材の確保といった、信頼できる工場の育成をサポートします。

目先の課題解決の向こうに、社会システムの変化を目指している

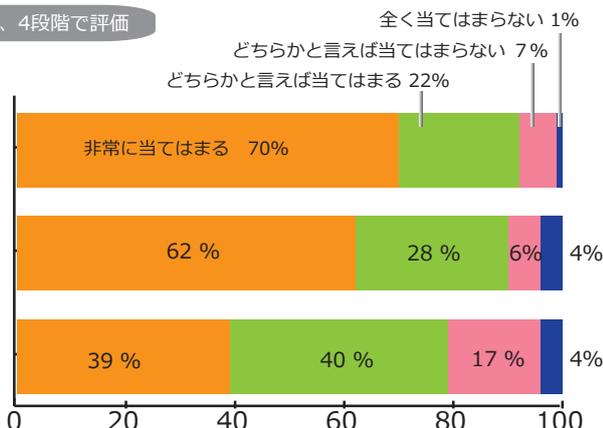
- 起業に至った理由：「既存の社会システムや業界内の慣行を変えたいと思った」に7割の起業家が「非常に当てはまる」と回答
- いわゆる「社会貢献」や「慈善」という意識だけで起業しているわけではない。

Q. 起業しようと思った時の理由や気持ちについて、4段階で評価

起業をすることで、
既存の社会システムや
業界内の慣行を変えたいと思った

起業をすることで、
特定の顧客や地域の課題を
解決したいと思った

起業をすることで、
自分の専門性やスキル、経験を
社会のために活かしたいと思った



ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット アンケートより (回答者95人 2012年2月実施)

世界の社会起業家への期待

世界経済フォーラム (World Economic Forum、WEF) では2011年度のヤング・グローバル・リーダーズ (YGL) に、ETIC. 代表理事 宮城が選出されると共に、下記のETIC. プログラム卒業生が選ばれました。

●YGL2012年選出社会起業家



中村 俊裕氏
Co-Founder and Chief Executive Officer
Kopernik (コペルニク)
(イノベーション・グラント 2009年、SVM1期)



小林 りん氏
公益財団法人インターナショナルスクール・オブ・
アジア軽井沢設立準備財団代表理事
(イノベーション・グラント 2010年)

社会起業を取り巻く支援環境の変化

社会起業家が取り組む事業の意義や行動に共感し、自発的に起業に関わる支援者、協業推進者が出現。ボランティアなどを含めて、ステークホルダーが合計

3461名とエントリー時の2.3倍に拡大。

起業家1名当たり約40名の支援者・参

画者を巻き込み、その存在が事業基盤の早期確立につながります。



プロボノリサーチ (SAL)
社会人や大学生から構成される
プロボノリサーチーたちに
よって、見えにくい課題を社会化。



バーチャルボードミーティング
経営戦略を専門家や経営者たちと
継続的に議論する仮想理事会
(バーチャルボードミーティング) は
ETIC. のコアプログラムのひとつ。

次世代の動き

「休学インターンシップ」の拡がり

東京大学が、秋入学と共にギャップイヤーの導入を推進している中、ETIC. では2011年度、休学しての長期実践型インターンシップの普及に力をいれました。

10月開催の「戦略的休学のススメ」のイベントには、約100人の学生が集まり、前年の同イベント参加人数の300%を上回り、休学して上手に時間を投資した経験者の話に耳を傾けました。また、2011年度、アントレプレナー・インターンシップ・プログラムも、17名が休学して社会事業や、地域の現場において、長期のインターンに取り組み、その後の人生を変える経験となっています。



坪井 聡さん
インターン先：NPO 法人 atamista

明治大学経営学部3年次を休学してインターン
何か本気になって一つのことにチャレンジし、小さくてもいいから自分で何かを成し遂げる経験を得たい！そして関心がある「人が幸せに暮らせるまちづくり」の実践経験を積みたいと、熱海で人に着目したまちづくりを行うNPO法人 atamista で1年間休学してインターン。自然、まち、人、食などの熱海の魅力を、地元の事業者・市民が主役となって企画・発信していく体験交流型プログラムの企画・運営に携わる。

震災復興リーダー支援プロジェクト

「5年後も10年後も若者たちが集い、起業家精神溢れる東北へ」

2011年3月11日、1000年に一度と言われる大震災が東北を襲いました。震災発生の日から、ETICは震災復興に向けた検討を開始。被災地・被災者への支援に向け、3月14日に「震災復興リーダー支援プロジェクト」を発足させました。

震災復興リーダー支援プロジェクトは、「5年後も10年後も若者たちが集い、起業家精神溢れる東北へ」を目標に掲げて活動しています。



Phase 1 緊急・短期の被災者支援 (2011年3月14日～5月1日)

震災発生直後、まず短期の被災者緊急支援として、「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)」に幹事団体として参画しました。現地でリーダーシップを執って活動する中核メンバーやその右腕メンバーを全国から派遣し、高齢者・障がい者・乳幼児等の震災弱者の支援を中心に取り組みました。また、救援活動に取り組むリーダーに対する活動支援金の助成も行いました。

Phase 2 右腕派遣プログラム (2011年5月～)

東北の復興に向けて、産業復興やコミュニティ再生、医療福祉・教育分野等の地域課題解決型プロジェクトに取り組むリーダーのもとに、その「右腕」となる有能な若手人材を派遣する「右腕派遣プログラム」を実施。2012年9月11日現在、55プロジェクトへ119名の右腕を派遣(緊急支援フェーズ含む)、2014年3月まで200名の派遣を目指して活動を推進中です。学生の場合は毎月10万円、社会人の場合は毎月15万円の活動支援金をETICから右腕本人にお支払いしています。

Phase 3 創業支援プログラム (2012年5月～)

東北の復興に向けての起業・事業創出を応援するプログラム「みちのく起業」を、内閣府復興支援型地域社会雇用創造事業の採択事業の一環として実施。第1期ファンド・第2期ファンドあわせて50名の起業家を選出し、250万円の支援金をはじめ、メンターからのサポートや起業家同士の集合研修、東北の未来をともに創る仲間とのネットワーク機会等を提供しています。

	Phase 1 緊急・短期の被災者支援	Phase 2 右腕派遣プログラム	Phase 3 創業支援プログラム
期間	2011年3月14日～5月1日	2011年5月～	2012年5月～
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ●「つなプロ」を通じて現地へボランティアを派遣、避難所での課題等を発見し、専門NPO・特殊物資などつなげる活動を実施 ●「つなプロ」へのリーダー・右腕スタッフ派遣 ●救援活動に取り組むリーダーへの活動金助成 	<ul style="list-style-type: none"> ●復興に向けた事業・プロジェクトに取り組むリーダーに対し、右腕人材を派遣 ●右腕派遣先プロジェクトに対する事業インキュベーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●東北の復興に向けた起業・事業創出に対し、250万円の支援金をはじめ、研修やネットワークの機会を提供
結果	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア派遣者数：378名 ●訪問避難所数：443箇所 ●巡回訪問回数：965回 ●「つなプロ」へのリーダー派遣数：15名(以上、2011年5月1日時点) ●ニーズ発見数：505件(うち少数の震災弱者のニーズ：232件) ●マッチング数：115件(以上、2011年5月10日時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ●右腕派遣者数：119名(緊急支援フェーズ含む) ●派遣プロジェクト数：55 ●右腕へのエントリー者数：283名(累積)(2012年9月11日現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ●選出起業家数：50名(第1、第2期ファンド合計)

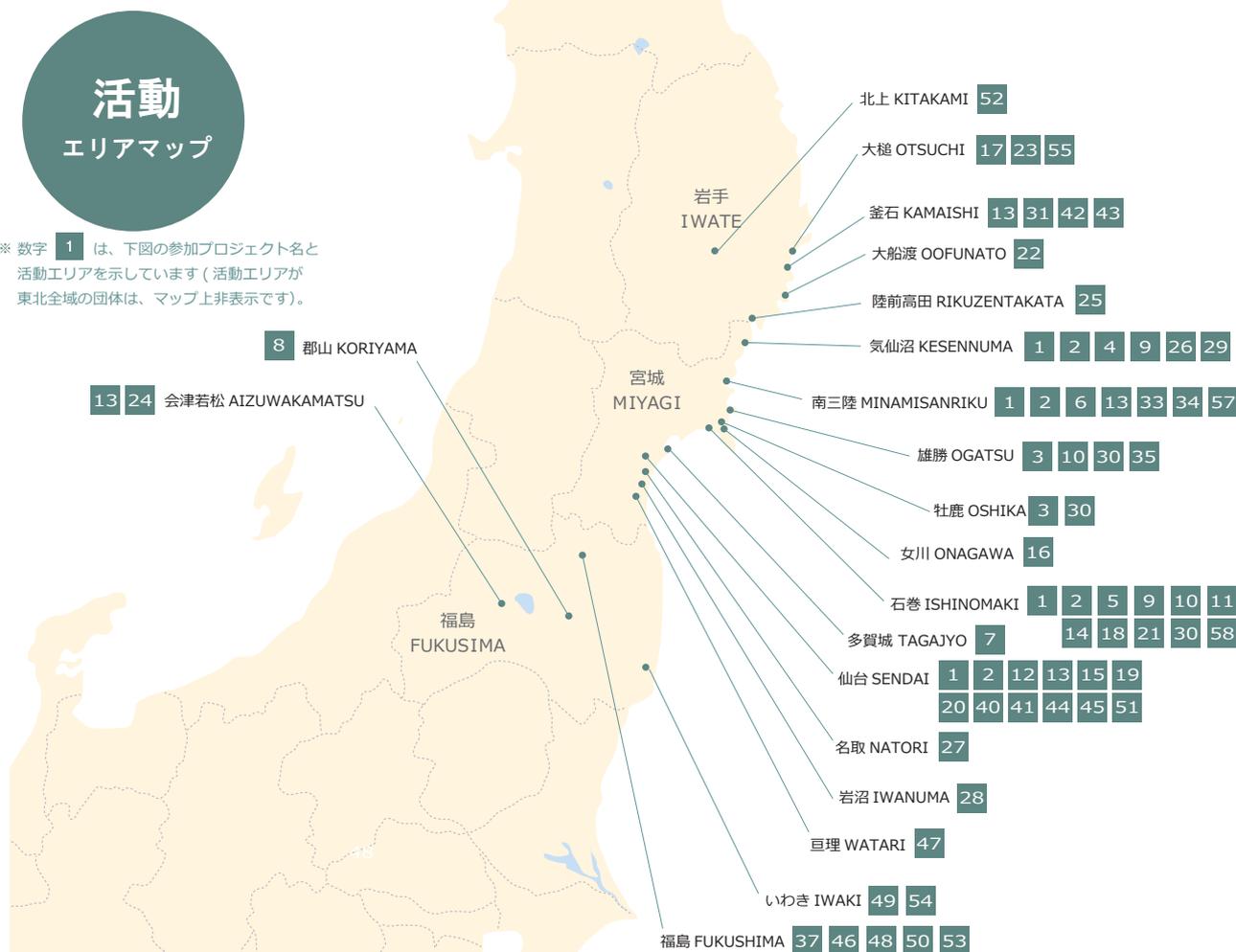
「右腕派遣プログラム」の派遣先プロジェクト

2012年春から福島への右腕派遣も開始し、岩手・宮城・福島の東北3県に右腕を派遣しています。

活動

エリアマップ

※ 数字 **1** は、下図の参加プロジェクト名と活動エリアを示しています (活動エリアが東北全域の団体は、マップ上非表示です)。



1. コミュニティバス運行プロジェクト
2. スペシャル・ニーズを持つ方々 (生き難さを抱える方々) の「未来創生」プロジェクト
3. つなプロ 牡鹿・雄勝
4. つなプロ 気仙沼
5. つなプロ 石巻
6. つなプロ 南三陸
7. 気仙沼多賀城
8. 福島県移動保育プロジェクト
9. 地域看護・地域福祉 後方支援プロジェクト
10. 東日本大震災リハビリネットワーク ~ face to face ~
11. 訪問看護ステーション立ち上げプロジェクト
12. ドラミングを通じたコミュニティビルディングプロジェクト
13. [タダゼミ] & [ガチゼミ]
14. ほっとスペース
15. 被災地発の「子どもの貧困」を緩和するモデルづくり
16. 放課後学校「コラボ・スクール」女川町
17. 放課後学校「コラボ・スクール」大槌町
18. MI-K2 (Mission Ishinomaki-K2) ~ 石巻復興支援プロジェクト ~
19. MAKOTO プロジェクト
20. 一般社団法人パーソナルサポートセンター
21. 仮設住宅・第二のふるさと創出プロジェクト
22. 大船渡仮設住宅支援員配置支援プロジェクト
23. 大槌町地域支援員配置プロジェクト
24. 福島 (会津) 絆づくり支援センター
25. 陸前高田未来商店街プロジェクト
26. バイオマスエネルギー事業立ち上げプロジェクト
27. 東北 Roku プロジェクト
28. 株式会社ファミリア
29. ともづなプロジェクト
30. 地域の未利用資源活用とコミュニティ再生プロジェクト (つむぎや)
31. 地域資源を活かした釜石復興ツーリズムプロジェクト

32. 一般社団法人「東の食の会」プロジェクト
33. 南三陸観光再生プロジェクト
34. 南三陸復興アトリエプロジェクト
35. 雄勝アカデミープロジェクト ~ こどもの教育支援を通じた復興 ~
36. ひたちなか海浜鉄道再生プロジェクト
37. 避難住民の雇用創出支援プロジェクト
38. ORIZURU プロジェクト
39. 一般社団法人 RCF 復興支援チーム
40. せんだい・みやぎ NPO センター 事務局助手
41. みやぎ連携復興センター
42. 岩手県釜石エリア 雇用マッチング支援プロジェクト
43. 岩手県釜石エリア 雇用創出プロジェクト
44. 一般財団法人地域創造基金みやぎ
45. 復興応援団プロジェクト
46. 福島大学災害復興研究所
47. 亶理町グリーンベルトプロジェクト
48. 福島復興・市民力支援プロジェクト
49. いわき市内におけるコミュニティ・スクールを核にした地域復興事業
50. うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト
51. 東北復興ポジティブエイジングプロジェクト (東北復興ポジティブプロジェクト)
52. いわて連携復興センター
53. 福島ひまわり里親プロジェクト
54. いわきオーガニックコットンプロジェクト
55. 大槌町社会福祉協議会ボランティアセンター
56. ap bank fund for Japan
57. 南三陸まなびの里プロジェクト
58. 石巻医療圏 健康・生活復興協議会在宅被災世帯コミュニティ・生活支援プロジェクト
59. トモノテ
60. 石巻市鮎川浜における地元海産物を利用した飲食店 (ぼっぼら食堂) 運営事業

右腕紹介

村井 香月さん

「南三陸復興
アトリエプロジェクト」



タコが名産品の南三陸町において、復興のシンボルとして「ゆめ多幸鎮オクトパス君」を製造・販売するプロジェクト。村井さんは、販路開拓・生産管理・インターネットでのマーケティング・広報を担当。

Profile

大学卒業後、大手旅行会社を経てフェアトレード会社に勤務。2011年9月1日から宮城県南三陸町入谷地区において復興支援品（オクトパス君）を起点とした雇用創出プロジェクトの右腕として、販売促進・生産管理などプロジェクトの基盤創りに従事。

大槌町の仮設住宅に、地域支援員を地元雇用して配置し、相談受付、窓口対応、広報対応、コミュニティ支援等を行うプロジェクト。統括マネージャーの補佐役として、住民、支援員も含めた内外からの問い合わせや行政への提案もおこなう。

Profile

アカシック株式会社代表取締役。学生時代の議員インターンシップの運営・国際交流、投資会社での営業業務、IT企業にて秘書・経営企画業務など幅広い経験を生かして、右腕プロジェクトに参画。大船渡市・大槌町仮設住宅支援事業における統括マネージャーの補佐役を担う。右腕修了後も、東北復興に携わり続ける。



成田 好孝さん

「大船渡仮設住宅支援員配置支援プロジェクト」

宮城県牡鹿半島東浜地区・牧浜を中心に、漁網を使ったミサンガや鹿の角を用いたアクセサリー・OCICAの制作を通じて、被災された女性たちの仕事づくりとコミュニティづくりが仕事。リーダーのアイデアを実現化するために必要なことや課題を整理することが役割。

Profile

経営コンサルティング会社にて2年間、営業戦略の立案・業務改革、新規事業の立ち上げ支援などに従事。その後、右腕として参画。プロジェクトリーダーの友廣氏は、大学時代の先輩にあたる。右腕修了後は活動していた地域で起業し、石巻牡鹿の浜のお母さんたちと「ぼっばら食堂」のオープンに携わる。

多田 知弥さん

「つむぎや」

（石巻沿岸地域の未利用資源を活用した産業復興支援）



女川町・大槌町で、被災地の子どもたちが学ぶ『場』を地元の教育関係者や地域の方々とともに作るNPOカタリバの「コラボ・スクール」。

これまでの経験を生かして海外ファンドレイジングを中心に担当。

Profile

ピースポートをはじめ、国際交流、国際協力、舞台芸術の分野で企画運営、通訳・翻訳に携わる。フィリピンのマニラに13年在住し、日本およびフィリピンのNGO、日本大使館、JICAと連携した開発案件の形成・運営、関係者向けの研修等を実施。カタリバでは海外ファンドレイジングを中心に、広報および企業との連携等を担当。



高山 リサさん

放課後学校「コラボ・スクール」
（宮城県女川町・岩手県大槌町）

その他の連携プログラム



みちのく復興事業パートナーズ

被災地で復興に取り組む次世代リーダーを支援する企業のプラットフォームを、2012年6月に設立しました。



みちのく復興インターン

現地リーダーの元で、学生が復興プロジェクトに3週間取り組むインターンシッププログラムです。内閣府復興支援型地域社会雇用創造事業の採択事業の一環として実施しています。



学生ソーシャル・アクション・プログラム

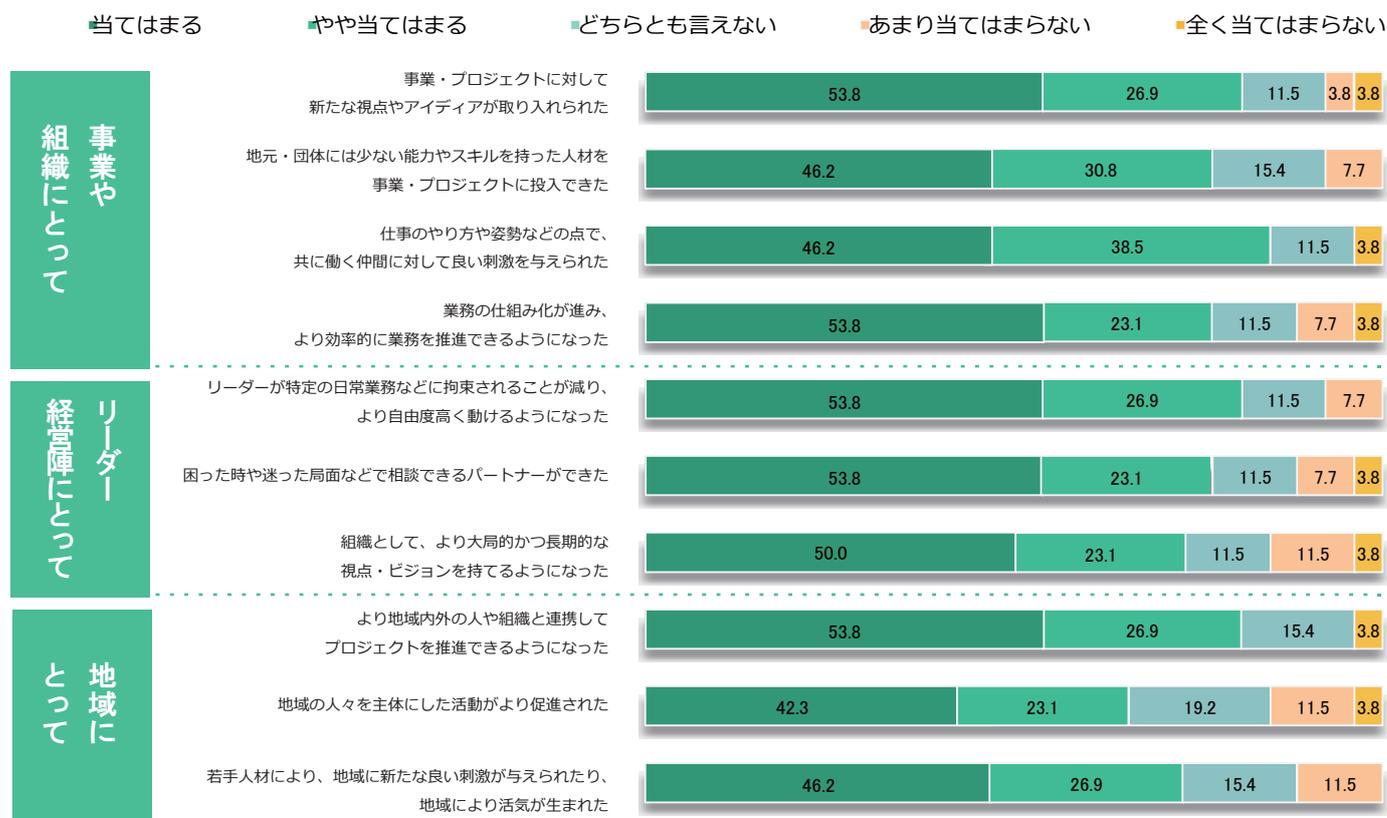
「マイプロ for TOHOKU」

東北復興に貢献するマイ・プロジェクトを実施する学生を、活動支援金の支給や研修などでサポートするプログラムです。

右腕派遣プログラムに対する評価

2011年7月に、右腕を受け入れている派遣先プロジェクトのリーダー26名に、アンケートに答えていただきました。

Q 右腕受入によって向上した点や、右腕が入った意義



※回答の構成比は小数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません。
右腕派遣先プロジェクトリーダー アンケートより (2012年2月実施)

リーダーからの声 (抜粋)

- 「地元人材では担いきれないノウハウや行動力を持つ人材が、必要なタイミングで来ていただき、地元へ多くのノウハウを提供していただいた。また、私1名では担いきれないプロジェクトも右腕メンバーの存在により、積極的にチャレンジできた」。
- 「食の生産者と販売企業のマッチング事業を推進する上で、営業経験を生かして新規の販売先を開拓し、具体的な案件の成立に貢献している」。
- 「募集時に期待していた以上の役割を果たして頂いている。自分たちに不足している部分を補うだけでなく、突発的に発生する課題に対する対応や、所属プロジェクト以外の事にも柔軟に対応するなど、打てば響く存在となっている」。

今後に向けて

本プロジェクトについては、国内外の個人・団体・企業の皆様より大きな関心を頂戴し、2012年9月11日現在のご寄附の総額216,184,234円のほか、民間企業や国内外の財団からも、引き続き支援に関する照会をいただいております。

しかしながら、右腕人材の派遣をはじめとして、現地で復興に取り組む人々からの支援のニーズは予想以上に高く、右腕派遣の目標を2014年3月までに「50件のプロジェクトに200名」と上方修正したことをはじめ、総予算額も3年間で6億円以上の規模となる予定で、改めてファンドレイジング戦略の強化を実施してまいります。

また、2012年度からは東北での創業支援に実験的に着手しており、新たな起業家を支援する仕組み・体制として、幾つかの地域において、地域の有力者(地元の経営者)を中心とした戦略会議を毎月定期開催しています。こうした種をまきながら、人が育ちチャレンジが生まれるハブ機能を持った地域を、草の根レベルで育てていくことに取り組んでいきます。

インキュベーション

社会にイノベーションを起こそうと事業に取り組む起業家や担い手が集い、新しい事業が育まれる生態系（ビジネス・エコシステム）を創ることを目指しています。



社会起業塾イニシアティブ

NEC(2002年～)、横浜市(2009年～)、花王株式会社(2010年～)をオフィシャルパートナーとして運営する「社会起業塾イニシアティブ」は、6ヶ月間の期間を設定し、若き起業家のスタートアップを共に加速していくプログラムです。これまでに47名の起業家たちが参加し、活躍しています。「事業の目的と戦略」を磨ききることで、その後の豊かな成長の土台をつくることを目指しています。2012年は、10年間で培ったノウハウやネットワーク・生態系をベースに次の10年間へ、より大きな価値を創造するためにプログラムの充実を図っていきます。

Member (2011年度)

一般社団法人ゆにしあ 代表理事：池田 百合子さん

地域で暮らす療養者とその家族に対する食事介助と調理のトレーニング事業

子育て支援ネットワーク・リレーション(NPO法人あつとほーむ内) 代表：小栗 宏之さん

自宅型の小規模保育施設(おうち保育園)の育成・普及・啓蒙事業

戸倉復興支援団 代表：厨 勝義さん

東日本大震災後、宮城県三陸町戸倉地区の復興を目指し活動

NPO法人クロスフィールズ 代表理事：小沼 大地さん

企業で働く人が新興国 NGO で社会課題の解決に挑む「留職」プログラム事業

ワンスクウェア株式会社 代表：藤井 健さん

インドの低所得者層に安全な飲料水を提供する水道環境浄化推進事業

NPO法人 Arrow Arrow (アローアロー) 代表理事：堀江 由香里さん

中小企業に対する育休取得から復帰後までのサポート事業

NPO法人 tadaima! 代表：三木 智有さん

共働き家庭のための家事シェアリング(両親学級、パパ家事プロジェクト等)事業

ファームアンドカンパニー株式会社 / 兵庫県有機農業生産出荷組合 代表：光岡 大介さん

野菜を作る人と食べる人、畑と食卓の距離を近づける地域事業。神戸に野菜ピストロレギュームも運営

NPO法人 3keys 代表理事：森山 誉恵さん

児童養護施設にいる子どもたちの学習を通じた自立支援事業



Official Partner

NEC

横浜市
City of Yokohama

kao

Program Partner

dentsu

イノベーション・グラント

フロンティアを切り拓いてきたベンチャー経営者が、各社のビジネスインフラやネットワーク・資金などを持ち寄り、社会の現場の課題二ーズに挑戦する若き起業家たちと繋がることで、この場から新たな協働事業・プロジェクト等が生まれ出されています。

INNOVATION GRANT FELLOW

NPO法人 Light Ring. 代表理事 石井 綾華氏

側に居る大切な人を支えるためのうつ病予防教育・実践サポート事業

医療教育団体めでいぶる! 代表 佐藤 和弘氏

医療者に対して「医学」と「臨床」のギャップを埋める学びの場の提供事業

FamilyCellBank 株式会社 代表 益城 賢太郎氏

貴重な幹細胞ソース、臍帯血の保管及び臨床開発を推進する事業

Tie for Change 代表 森本 宏美氏

「自分の魅力アップ」が社会貢献に繋がるネクタイ・チャリティー事業



複数名のパートナー企業経営者から、直々に事業についてのアドバイスを頂く貴重な機会を提供。

INNOVATION PARTNER

I.D.E.A
international

株式会社 ウィンローテ

NEXT CO. LTD

fact-real

Business Bank

ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット

本プロジェクトは、「内閣府 地域社会雇用創造事業」の一事業として行われ、2年間で95名のスタートアップ起業家に対し、平均200万円の支援金のほか、様々な経営資源を獲得するチャンスやギャザリングなど支援の場(=マーケット)を提供しました。



2年間で95名のスタートアップ起業家が選ばれ、3-4ヶ月に1度ギャザリング(合同研修)を実施。

- ・380件の応募から、合計95名をスタートアップメンバーとして選抜。
- ・25名の選定評価委員により、平均200万円の支援金をサポート。
- ・100名以上の実力ある起業家・経営者や専門家がメンター/サポーターとして参画。
- ・全5回のギャザリングやセミナーを通して、メンターや起業家同士の出会いの場を提供。
- ・24名の起業家に対して、関連分野の活動やリサーチ経験のあるプロボノチームとマッチング。
- ・事業立ち上げの戦力となるインターン生の受け入れをサポート。
- ・マーケットコーディネーターが伴走者として起業家をサポート。

事業化サポート企業



※行政事業としては2012年3月をもって終了となりましたが、同様のサポートメニューは継続予定です。

アメリカン・エクスプレス・アカデミー

アメリカン・エクスプレス財団とともに、次世代を担う若手NPOリーダーと起業家を対象としたリーダーシップ育成プログラムを開催。

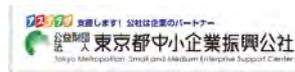
2011年は、8月にアメリカン・エクスプレス・サービス・アカデミー、9月にアメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミーを開催し、総勢60名の起業家が参加しました。2012年6月に開催の本プログラムでは、被災地の復興に取り組むリーダーやそのリーダーを支える右腕人材も参加。



2泊3日の集中講義を2回実施。日頃、現場が第一の参加者たちにとっての振り返りとインプットの時間に。

地域応援ナビゲーター事業(東京都地域中小企業応援ファンド助成事業)

課題を数多く抱える東京においては、これらの課題を解決する新しい産業やビジネスを創造していく役割が期待されています。このような東京都の地域活性化に資する中小企業者等の新たな取り組みを募集する「地域資源活用イノベーション創出助成金」。この助成金にあたって、地域応援ナビゲーターとして、申請に関するサポートや、東京都との調整等を行っています。2012年～2013年も春と秋に助成を募集予定。



助成交付団体 (ETIC. が関わらせて頂いている団体)

- ・特定非営利活動法人フローレンス (2011年度前期)
 - 世界初! 日本発、病児保育の資格創設事業
- ・特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会 (2011年度前期)
 - 子宮頸がん予防「検診コンシェルジュ」
- ・株式会社ウインローダー (2011年後期)
 - 運搬・リユース機能付個人向け倉庫サービス



プログラム参加起業家ご紹介（一部）

エチオピアは世界最高峰の羊皮の産出国でありながら、産業の発展が遅れているため付加価値の低い<原皮>の輸出に依存している。この現状を打開するため、エシカル×リユクスなレザーブランドを設立。素材調達からデザイン、製造まですべて現地で行い、2012年4月より東京ミッドタウン、ヒカリエ、三越（福岡）などで販売している。（2010年、イノベーション・グラント参加。2011年、ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット参加）



鮫島 弘子さん
（株式会社 andu amet 代表）

スポーツに関わる障害者が社会で力を発揮できていない現状に疑問を抱き、障害者雇用についても啓発を続ける。サステナビリティをもった障害者スポーツ組織の経営を目指し、事業型非営利スポーツ組織を目指す。（2008年、イノベーション・グラントフェロー。2009年、ゴールドマン・サックス教育社会起業家・NPO 支援プログラム参加。2011年、ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット参加）



松崎 英吾さん
（日本ブラインドサッカー協会
事務局長）

岡山県西粟倉村の余剰のヒノキ材を使用し、伝統的な「木組み」という手法を用いて家具を作る技術を見出し、机や椅子、小物製品を製作・販売。技術を継承すると同時に、間伐材を利用することによる森の再生・地域の再生を目指している。2012年7月、ap bank fes'12にて出店・ワークショップ開催。9月には、岡山県美作市湯郷温泉「季譜の里」のロビーのリニューアルにおいて、日本でも珍しい檜家具で埋め尽くすという明るい旅館づくりをプロデュースする。

（2010年、ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット参加）



大島 正幸さん
（木工房ようび 代表）

児童養護施設の子どもたちへの学習支援を通して、退所後の自立を促す活動を展開。2011年12月よりブックオフと連携し、古本やDVDなどを通じて施設を支えられる寄付「Book For Kids」を開始。今後は、まずは東京都を中心として、学習支援のモデルを展開する。また同時に、団体主催の勉強会などを通じて施設の課題を広く知ってもらうための啓発活動を行っていく。

（2010年、ソーシャルベンチャー・スタートアップマーケット参加。2011年、社会起業塾イニシアティブプログラム参加）



森山 蒼恵さん
（NPO 法人 3keys 代表理事）

活躍する OB・OG

カンボジアを中心に、こどもの人身売買を防ぐ活動を展開。事業開始10年を経て、現地警察との連携等も進み、カンボジアでの問題発生は10分の1に減少。現在は、培った経験、ナレッジを活用し、インドでの問題解決に向けた展開を準備中。（2003年、NEC 社会起業塾参加。現在、アントレプレナー・インターンシップ・プログラム受入団体）



村田 早耶香さん
（NPO 法人かものはし
プロジェクト 理事長）

聴覚障がい者と聴者の対等な世の中を作るために、2008年に大学2年生で起業し、ITを駆使した事業を展開する。現在、テレビ電話を利用した遠隔手話通訳を全国350台提供、世界初となる手話から検索可能なクラウド型オンライン手話辞典の開発、美術館などの音声ガイドを手話に翻訳して提供するアプリの販売を行っている。2012年に、アショカ・フェロー選出、TEDxTokyo スピーカー、米経済誌 Forbes より30歳以下の世界30人の社会起業家選出。

（2010年、社会起業塾イニシアティブプログラム参加）



大木 洵人さん
（シュアールグループ 代表）

ソーシャルベンチャーセンター

2009年10月より、東京都の委託事業として開始したソーシャルベンチャーセンターでは、社会起業やソーシャルビジネスを志す人材のための専用窓口として、相談業務や経営相談会を実施しました。主に社会人で、これから社会事業を志す方たちを対象に、社会起業の啓蒙活動として、多くのセミナーやイベントを開催しました。

セミナーイベント開催数：**70**件 セミナーイベント参加者数：延べ**2,240**人
 相談者数：**378**名 経営相談会への参加：**38**団体
 交流会開催数：**5**件 交流会参加者数：延べ**333**人

法人立ち上げ等のステップアップ事例

- 中野 宏美さん** 「しあわせなみだ」が特定非営利活動法人として東京都の認証を受ける
- Nhat Vuong (ナツ・ヴォング) さん** 自身が手掛ける寄付のプラットフォーム「ikifu.」一般社団法人として設立
- 橋本 敦子さん** Relax'Creation project が株式会社として登記
- 角間 惇一郎さん** 一般社団法人 GrowAsPeople を設立
- 不破 牧子さん** 特定非営利活動法人ダイバーシティ工房を設立

プロジェクトの立ち上げ事例

- 高田 由美佳さん、坂田 穰さん、孫 大輔さん**
3名がプロデュースする復興支援プロジェクト『道のカフェ』が開始
- 牛堂 雅文さん**
任意団体【プロボノステップ】を、NPOサポートセンターの笠原さんと立ち上げ
- NPO 法人マドレボニータ 吉岡 マコさん**
東北地域における産後ケア普及活動（マドレキャラバン in 東北）を開始



講演会形式でのセミナーを多数開催。



交流会も実施。
延べ300名以上の方が参加。



経営相談会を計4ターム16回開催。
複数の方からアドバイスを頂きました。



多い時には1回のセミナーに100名以上の方が参加。

ソーシャル・アジェンダ・ラボ

SAL（ソーシャル・アジェンダ・ラボ）では、リサーチ・プロボノで構成されるリサーチ・チームが、社会課題の解決を目的とする起業家に対してサービスを提供します。これまでに総勢153名のアソシエイト（プロボノ・リサーチャー）により、50の課題調査を実施しました。

リサーチ事例

CASE 1

NPO法人発達わんぱく会 小田 知宏さん 浦安での課題を全国で展開するためのリサーチプロジェクト

顧客のニーズを把握し、自社のポジションを明確にするリサーチを、小田さんが行ってきたことに加えて、アソシエイトの3人と一緒に実施。事業を次のステージに進めるための重要な部分を担う。アソシエイトの吉田一紀さん、浜岡誠さん、山田宗芸さんはリサーチ終了後も発達わんぱく会に関わり続けている。



アソシエイトの浜岡誠さん（左）と吉田一紀さん（右）。
現在も浜岡さんは融資関係、吉田さんはIT担当として関わっている。

CASE 2

「休眠口座基金」創設プラン策定プロジェクト

NPO法人フローレンス代表理事の駒崎弘樹さんとともに「休眠口座基金」について、世界各国の実態調査と、日本での実現に向けた提言書をまとめました。本提言を受けて、2012年7月には、2014年度よりNPOなどへの資金供給に休眠口座を活用する方針が政府決定されました。

アントレプレナー・インターンシップ・プログラム (Entrepreneur Internship Program(=EIP))

ベンチャー企業・NPO などイノベーションの現場での実践・課題解決を通じて、次世代を担う起業家型リーダーを育成します。



本気を繰り返したヤツにしか
到達できない世界がある。

世の中に新しいライフスタイルや価値観を提案するベンチャー、社会の矛盾に事業を通じて挑む社会起業の現場が、人材育成のフィールドです。

我々は、イノベーションの現場でこそ、人の起業家精神が育まれると信じています。2011年度も延べ**66**のプロジェクトで、**113**名の学生がEIPにチャレンジしました。

新しい「学生時代」の在り方を社会に提案していきます。

EIPは、次世代を担う大学生に対して、ベンチャー・NPO等、イノベーションの現場で実践的なインターンシップの機会を提供すると共に、広く社会全体に、新たな教育システム・大学生活の在り方を提案すべく、「内定後インターン」「休学インターン」の普及に力を入れています。

「内定後インターン」という新しいチャレンジが広がる。

内定を決めた会社に人生を委ねてしまうのではなく、「自分の人生は自分で切り拓く」という信念を持ち、また、自分が実現したい社会を本当に実現できる「自分」に成長するため、内定後の貴重な期間を、「EIP」に投資する学生が増えています。

徳重 朋子さん / EIP14期生

インターン先：NPO 法人かものはしプロジェクト /
立命館大学 4年（当時）

現在の所属：株式会社ローソン

貧困問題解決に繋がるコース・マーケティング商品を日本に普及したい！との思いからローソンに入社を決めた後、かものはしプロジェクトにて8ヶ月インターン。世界の貧困問題解決の「収益源獲得」と「消費者への啓発」の双方の実現を目指し、アスクールと連携してコース・マーケティング・キャンペーンを実施！



高橋 里也子さん / EIP14期生

インターン先：株式会社 HASUNA
/ 慶応義塾大学 4年（当時）

現在の所属：大手総合商社

いずれ寄付や「援助」に依存しない国際協力の新しい形を創りたい！との思いから大手総合商社に入社を決めた後、株式会社 HASUNAにて7ヶ月インターン。エシカル・ジュエリーの普及を通じて、貧困問題の解決に寄与することを目指す同社にて、未整備だった顧客管理・継続購入の仕組みを開発！

「休学インターン」という学生時代の新しい過ごし方の可能性

大学を飛び出し、休学してとことん、インターンに挑み、そこで得たモノを、大学に戻って、また深い学びに繋げる。近年、EIPの中で広がりつつある「休学インターン」という大学時代の新しい選択肢を、大学における新たな人材育成のシステムとして、広く社会に提案していきたいと考えています。

一度大学の外に出ていろいろなものを吸収したい！みんなが経験する海外留学では得られない圧倒的な成長を遂げたいと、1年間休学して病児保育問題に挑むNPO法人フローレンスでインターン。同法人の新規事業、子育て支援マンションの施設運営・失われつつある地域コミュニティの再生のためのイベントの企画・運営に従事する。

教育の問題に関心がある、でもこのまま就職活動に突入していいのか？ということをお問答し、一度立ち止まって、自分の将来や夢と徹底的に向き合いたいと考え、1年間休学して、関心のあった児童養護施設の子どもの退所後支援を行うNPO法人ブリッジ・フォー・スマイルでインターン。同法人の新規事業、児童養護施設退所後の子どもの大学進学～卒業までを支援する「カナエール」の開催、団体の広報戦略立案、団体HPの全面リニューアルのリーダーに従事する。

檜垣 祐衣さん / EIP14 期生
インターン先：NPO 法人フローレンス
／3年次を休学
所属：立命館アジア太平洋大学

工藤 桃枝さん / EIP14 期生
インターン先：NPO 法人ブリッジ・フォー・スマイル
／3年次を休学
所属：早稲田大学



戦略的休学のススメ -WEB-

インターン生の起業家的成長と成果の最大化を目指し、研修プログラムを実施しています

インターン生がベンチャー・NPOなどの「イノベーションの現場」で困難を乗り越え、起業家精神を発揮し、受け入れ先の事業発展に貢献できるよう、同時期にインターンにチャレンジしているインターン生同士が集い、合宿型の研修を実施しています。

インターン期間中の起業家的成長を支援する各種リーダーシップ・プログラム

インターン開始	インターン実施	インターン終了	Next Step
<p>★キックオフ合宿 ～スタートライン</p> <p>3月/8月</p> <p>同じ時期にインターンをスタートしたインターン生が全員集まる合宿型の研修プログラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 研修の結果をあげた先輩インターン生によるパネルトーク ➢ 先輩起業家によるスペシャル講演 ➢ 半年間の目標設定ワークショップ ➢ 交流会 など <p>✓ これまでのゲスト経営者 シンクタンク ソフィアバンク 代表 田坂 広志氏</p>	<p>★インターンシップ実施 現場での仕事経験</p> <p>★中間合宿～キアアチェンジ 5月/11月</p> <p>半年間の振り返り地点で、改めてインターン生全員で翌日のインターン期間をトピックアゲて走り出すための合宿型の研修プログラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 伝説のインターン「小室直道氏」による100%仕事術が、アントレプレナーの仕事術をゲスト経営者、プロフェッショナルから学び取ります。 ➢ 翌日の3か月間の目標設定ワークショップ ➢ 交流会など 	<p>★修了合宿～クロスロード 8月/3月</p> <p>今年度EIPのインターンシップに参加した学生とEIP/OGが集まるEIPの総決算プログラムです。最も成果や成長を上げたインターン生のアワードを行います。</p> <p>✓ これまでのゲスト経営者 丸善株式会社 代表取締役 小畑 誠一郎氏</p>	<p>★インターン終了後のアクション</p> <p>インターン終了はあくまでも、スタート地点。要するに「起業家的な」成長を目指して、生涯、挑戦を続けて欲しいと思っています。EIPは引き続き、その挑戦を応援していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ インターンを継続する ➢ アドバンス・インターンに挑戦する <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域イノベータープログラム 義経復興リーダー支援プロジェクト等 ➢ SNSからプロジェクトを立ち上げる ➢ 起業する <ul style="list-style-type: none"> ➢ 社会起業家イニシアティブ 東海若手起業塾、SB(ソーシャル・ベンチャー)スタートアップ起業助成金など <p>★次の世代への貢献アクション</p> <p>貴重な経験をした先輩として、これからインターンをする学生、インターン中の学生に自分の経験を還元する機会をたくさん設けています。</p>

経営者ゼミ、各種勉強会・セミナー：
 希望者には、EIPのOBOG経営者が主催するゼミナール(インターン開始前、月1回(づ)開催)に参加することも可能です。また、世界で活躍する社会起業家や、地域再生に挑むコミュニティ起業家、最先端のテーマ別ビジネス勉強会など、EIPが起業家やビジネスプロフェッショナル向けに開催する各種勉強会やセミナーにもEIP-インターン生特典として、特別参加できます。



ソーシャルベンチャー向けの EIP 導入を支援するパッケージをスタートしました。

今まで主にベンチャー企業向けに導入していたインターンシップ・プログラムを、NPO等の社会的課題の解決をミッションとする組織にも拡げるべく、ソーシャルベンチャー向け EIP 導入パッケージをスタートしました。新たにインターンを導入する組織・経営者に対しての研修プログラム等を実施しています。

被災地の復興に情熱を傾けるEIP「卒業生」たち

学生時代にインターンを通じて、「起業家精神」を身に付けた OB・OG 達が、2011 年 3 月 11 日以降、自らの情熱を「東北」に傾け、新しい日本を創るべく奮闘を始めています。

片貝 英行さん／EIP 3 期生

NPO 法人キッズドアにて「東北の子ども応援プロジェクト」（被災した中高生を対象とした無料の受験対策講座）を展開。

花田 寛明さん／EIP 7 期生

石巻復興プロジェクトを立ち上げ、代表として活動。石巻の地元の食材、商品を都内近郊イベント、商店街にて販売し、被災地の復興を支援。石巻から東京への消費地域の転換（販路開拓）などによる雇用創出を目指す。

角田 美紗季さん／EIP 8 期生

ヤフー株式会社にて「復興デパートメント」（＝復興を目指すさまざまな人とモノが集まる元気いっぱいインターネット百貨店）の担当として運営に従事。

羽鳥 圭さん／EIP 11 期生

ふくしま連携復興センターにて事業計画づくり、NPO・行政・社協・企業・財団等の連携・協働を促進するための活動に従事。

東郷 智恵美さん／EIP 11 期生

石巻にて中高生の寺子屋、子どもたち専用のスペース「ほっとスペース」の立ち上げ、運営に従事。

小林 峻さん／EIP 11 期生

気仙沼・情報発信力アッププロジェクトにて気仙沼市内の企業のお手伝いをしながら、「新しい気仙沼」の発信に従事。

岡本 裕野さん／EIP 14 期生

一般社団法人パーソナルサポートセンター（宮城県）にてコミュニティワーク創出事業における企画運営に従事。

満留 彩さん／EIP 15 期生

つなぶる気仙沼にて仮設住宅のコミュニティづくり第 2 回目の全島アセスメントに向けた整備とその実施、社団法人設立に向けた準備活動に従事。

梶原 大試さん／EIP 15 期生

つなぶる気仙沼にて避難所でのアセスメント、地元の団体と連携し、被災者を継続的に支える仕組みづくりに従事。



片貝 英行さん／
EIP3 期生



花田 寛明さん／
EIP7 期生



角田 美紗季さん／
EIP8 期生



羽鳥 圭さん／
EIP 11 期生



東郷 智恵美さん／
EIP 11 期生



小林 峻さん／
EIP 11 期生



岡本 裕野さん／
EIP 14 期生



満留 彩さん／
EIP 15 期生



梶原 大試さん／
EIP 15 期生

社会の最前線で活躍する「卒業生」もEIPの人材育成に参画してくれています

過去 15 年間で、2500 名の学生が参画した EIP。ベンチャー・大手企業・NPO・行政、グローバル・地域と、卒業生が活躍する組織やフィールドは多種多様ですが、自ら社会の最前線で変革にチャレンジしつつ、EIP の人材育成に「貢献」してくれる流れが生まれています。

■ インターンの受け入れ先として、次世代の人材育成に貢献する EIP「卒業生」

今年度も多くの EIP 卒業生でもある起業家・経営者に、インターンの受け入れ先になって頂きました。このようなインターン経験者が、大学を卒業し、社会の最前線で活躍する側となって、今度はインターンを受け入れる側にまわるという「人材育成の循環」をこれからも大切にしていきたいと考えています。

株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役 小室 淑恵氏／EIP1 期生

ワーク・ライフバランスの伝道師として、国会や TEDxTokyo でも発言。国の政策に影響を与える起業家に。

株式会社みんなのウェディング 取締役 中村 義之氏／EIP8 期生

ディー・エヌ・エーからスピンアウトしたベンチャー。ネット×口コミでウェディング業界の変革を目指す経営者。

ケアプロ株式会社 代表取締役 川添 高志氏／EIP4 期生

検診弱者に対する気軽に安価な検診機会「ワンコイン」検診の普及を通じて、日本の医療費の削減を目指すソーシャルベンチャー。

コミュニティーファクトリー代表取締役 松本 龍祐氏／EIP6 期生

mixi ファンド出資第 1 号起業家。開始 1 カ月で 400 万ダウンロードを記録したソーシャルアプリケーションを企画・開発するソーシャルメディア業界、注目の起業家。



株式会社みんなのウェディング
取締役 中村 義之氏／EIP8 期生



ケアプロ株式会社 代表取締役
川添 高志氏／EIP4 期生

- インターン生向けのサポート・プログラムの社会人メンターとして EIP の人材育成に貢献してくれる「卒業生」今年度も多くの EIP 卒業生に、インターン期間中のサポート・プログラムに社会人メンターとしてご参加頂き、自身の経験をもとにしたアドバイスを頂きました。

天辰 次郎氏 (元株式会社インタースコープインターン EIP 3 期)
株式会社ウィット(グリーンハウスグループ) R&D 統括部長

山川 雄志氏 (元株式会社スタジオゲットインターン EIP 8 期)
株式会社ギブリー (givery,Inc.) 取締役

千葉 祐大氏 (元株式会社ゼイヴェルインターン EIP 7 期)
株式会社サイバード クリエーション 事業本部 プロデューサー

中村 義之氏 (元株式会社ドリームフィールズインターン EIP 10 期)
株式会社みんなのウェディング 取締役/マーケティング部

甬守 美沙氏 (元 NPO 法人 ETIC. インターン EIP 9 期)
株式会社ビー・スタイル HRR 事業部 首都圏第二支社 支社長

森谷 朋基氏 (元オイシックス株式会社インターン EIP 12 期)
オイシックス株式会社 EC 事業部 産直チーム 店長

古島 啓裕氏 (元 (株) 日広 / (株) インデックスインターン EIP 7 期)
有限会社古島法衣店

横山 真衣氏 (元トレンドーズ株式会社インターン EIP 6 期)
株式会社ワーク・ライフバランス コンサルタント

前澤 隆一郎氏 (元某 IT ベンチャー / クーコム (株) インターン EIP 5 期)
株式会社ディー・エヌ・エー (DeNA)

安田 裕氏 (元株式会社インタースコープインターン EIP 6 期)
個人事業主

源 夏未氏 (元株式会社シンプリッジインターン EIP 11 期)
アビームコンサルティング株式会社 P&T 事業部 アナリスト

低引 稔氏 (元 NPO 法人フローレンスインターン EIP 9 期)
NPO カタリバ カタリ場事業本部 事業企画部 部長

(※順不同)



中間合宿「ギアチェンジ」の様子。任せられる仕事が多い故の壁や悩みを、EIP 卒業生に起業家的視点からアドバイス頂いています。



修了合宿「クロスロード」の様子。インターン修了後のアクションについて、インターンの成長、成果を振り返り、人生の先輩である、EIP 卒業生にアドバイス頂きながら、次の挑戦への計画を立てていきます。

アントレプレナー・インターンシップ・プログラム OBOG 登録受付中

アントレプレナー・インターンシップ・プログラム (EIP) は、97 年からスタートし、今年で 16 期を迎えました。経験されたインターン生も 2500 人以上を数えます。

この度、16 期目を迎えるにあたり卒業された皆さまと改めて、しっかりと繋がってきたいと思い、OB 組織を今後、作っていただければと考えております。

まだ OB 組織の具体的な活動内容は、これから皆さまのご要望も参考にさせて頂きながら形作っていただければと思っておりますが、まずは皆さまの現状の情報を頂き、今後、具体的にになってきた段階で改めてご連絡差し上げたいと思っております。

お手数ですが、以下登録フォームに最新の連絡先などをご入力いただき、ETIC. インターンシップ事務局までご連絡くださいませ。

http://www.etic.jp/obog_form



コミュニティ展開事業部

人が育ち、地域が育ち、仕事が出来「挑戦の生態系」を地域に創ることを目指し、実践型インターンシップによる地域づくりを進めています。



2011-2012 TOPICS

TOPICS 1 全国14地域27大学と連携し、実践型インターンシップを実施

内閣府「地域社会雇用創造事業」を活用して、全国14のコーディネート機関、27大学(*)と連携し、約6週間の短期実践型インターンシップを334社1029名実施。起業家マインド溢れる人材育成のプログラム開発およびその評価手法の開発を通じて、起業家型リーダー育成の基盤作りができました。

*連携大学

札幌学院大学 / 小樽商科大学 / 北海学園大学 / 札幌大学 / 山形大学 / 東北芸術工科大学 / 新潟経営大学 / 新潟青陵大学 / 金沢大学 / 法政大学 / 東京農業大学 / 名古屋大学 / 中京大学 / 愛知学泉大学 / 愛知東邦大学 / 名古屋市立大学 / 岐阜大学 / 太成学院大学 / 阪南大学 / 大阪経済大学 / 大阪商業大学 / 高知工科大学 / 鹿児島大学 / 鹿児島国際大学 / 志学館大学 / 琉球大学 / 沖縄大学地域研究所

TOPICS 2 大学生と若手社会人向けのプログラムに288名が参加

「将来は地元に戻りたい」「好きな地域で仕事をしたい」と考えている学生や若手社会人向けのプログラムとして、地域ベンチャー留学(学生対象)、地域イノベーター養成アカデミー、地域イノベータープログラム(社会人対象)を実施。3プログラム合わせて288名が参加しました。



地域イノベーター養成アカデミーの募集説明会には約100名の方が参加

TOPICS 3 「地域仕事づくりチャレンジ大賞2011」を2011年9月、2日間に渡り開催

「地域仕事づくりチャレンジ大賞2011」を2011年9月9日(金)、10日(土)の2日間で開催いたしました。全21事例中、会場投票1位の総合グランプリには岡山県西粟倉村の林業の6次産業化の事例が選ばれました。また、地域の仕事づくりにつながる多様な取り組みが紹介され、イベント後に月刊「ソトコト」に特集されるなど、大きな影響が生まれました。



年に1度の「地域仕事づくりチャレンジ大賞」では全国の事例の中から総合グランプリを選出

主なプログラム

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト

<http://www.challenge-community.jp/>

若者の挑戦を支える生態系を日本中に展開していくため、各地のプロデューサー団体（CP：チャレンジ・プロデューサー）と連携し、長期実践型インターンシップを中心に、地域×若者×挑戦＝仕事づくりの仕組みを地域社会に根付かせていく事業を展開しています。現在約40地域と連携して様々な協働事業を展開しています。毎年9月には「地域仕事づくりチャレンジ大賞（2012年9月で5回目）」を実施しています。



地域イノベーター養成アカデミー

<http://academy.etic.or.jp/>

地域の新たな可能性を把握し、その地域に合った手法を用いて、地域で新たな仕事を創り出す人材や変革の現場で挑んでいるリーダーの右腕にあたる人材の育成・輩出を目的としています。将来、地域で革新的な仕事に取り組む存在になりたい20～30代の若手社会人の方を対象に、数回のフィールドワークと講義＆ワークショップを組み合わせた、地域で仕事を創り出すための手法と感性を養う、短期集中実践型のプログラムです。2010年～2011年は10地域、2012年は16地域の地域プロデューサー・自治体と連携して実施。



地域イノベータープログラム（社会人対象）

http://community_innovators.etic.or.jp/

地域変革が求められる現場で期間限定の新規事業リーダー（右腕）として新たなビジネスの創出に挑むプログラムです。会社を退職または休職し、地域の師匠（受け入れ企業経営者）の元で地域に約1年間フルコミットで入り込み、実践型プロジェクトに取り組むと同時に、地域プロデューサー・地域の師匠が、次世代育成に参加し、経験・知識を合同研修で年2回伝授します。



地域ベンチャー留学（学生対象）

<http://www.etic.or.jp/cvr/>

大学生、大学院生を対象とした、チャレンジを仕掛ける地域企業での実践型課題解決インターンシッププログラムです。その地域、その企業にしかできない技術と商品で挑戦し続ける企業でチャレンジする地域の人とともに「ビジネス」を通して、地域の可能性に挑戦します。



地域の挑戦story

- 若手社会人が地域のイノベーションの現場にUIターンで参画！
地域イノベータープログラム参加：横山桃子さん（当時23歳）
横山さんは長崎の五島列島にある小値賀町出身。大学卒業後東京のデザイン会社で就業するも、昔から持つ小値賀で暮らしたい気持ちを抑えられず本プログラムに参加。小値賀で観光ビジネスを展開しているおぢかアイランドツーリズムで物産開発を担ったのち、現在は家業の活版印刷業を継ぐべく、3代目の父のもとで奮闘中。
- 自治体も地域リーダー育成の仕組み作り参考に
千葉県銚子は2011年に市役所が受入先団体となり地域イノベーター養成アカデミーに参加。フィールドワークなどを通して地域資源の発掘を行った。2012年からは市役所職員の協力によって地元企業への地域ベンチャー留学（大学生向けの実践型インターンシップ）の導入も始まっている。
- 大学を中心に地域の人材育成の仕組みづくりが加速
全国20のコーディネート機関と約40大学の関係者が2010-2011年度で4回、研究会を実施。研究会では、地域での人材育成カリキュラムの大学教員・職員も含む実践者たちが、ワールドカフェ形式のワークショップ等も取り入れながら、互いの学びと気づきを交換し合いました。



横浜ランチ

横浜市内を中心に神奈川県内のソーシャルビジネスや「新しい公共」の担い手の発掘・支援・ネットワーク化等に取り組んでいます。次世代リーダーとなりうる若者を地域ぐるみで育てる環境づくりや、中小企業の地域におけるソーシャルビジネス進出支援などが主な内容です。

地域未来創造型インターンシップ

横浜を舞台に、企業・NPO・行政…等が連携して取り組むまちづくり系プロジェクトに特化したインターンシッププログラムがスタート。

14名の大学生が横浜でのインターンシップに挑戦しました。

<http://yokohama.etic.or.jp/fci/>



横浜市内のインターン生同士がコラボして、横浜の魅力を伝える企画展を市内各地で開催。地元紙等にも取り上げられ、話題になりました。

Yokohama Changemaker's CAMP

ブラッシュアップコース4名、リサーチコース2名の起業家を、地域ぐるみで応援する新プログラムがスタート。横浜市内の経営者や大学教授、NPO代表者、行政職員等、各方面の有識者の皆様総勢25名の方に協力者としてご参画いただきました。



リサーチコースのミーティング風景。横浜市職員と民間社会人からなる公民連携のプロボノチーム結成は日本でも初めての試み。

MEMBER

- >リサーチコース
 - ムイットボン! 上田 尚矢氏
 - NPO 法人和の環 中川 美和子氏
- >ブラッシュアップコース
 - エバーフォワード 阿部 元気氏
 - 株式会社ソウルマッケンジー 高山 明久氏
 - Turn to Smile 宗像 美由氏
 - 株式会社リタトレーディング 大村 有人氏

横浜社会起業塾

3期目となる2011年度も2名の若手起業家を選出。

1~3期の塾生同士が合同でイベントを企画するような横のつながりも少しずつ生まれ始めています。

NPO 法人あっとほーむ 子育て支援ネットワーク・リレーション 小栗 宏之さん
ワンスクウェア株式会社 代表 藤井 健さん



NPO 法人あっとほーむで「おうち保育園」を推進する小栗宏之さん（左）
インドの水道環境の浄化を進めている藤井健さん（右）



YOKOHAMA SOUP

3~4ヶ月に1回の頻度で開催しているソーシャルビジネスの担い手によるプレゼン会。2011年度も3回にわたって企画開催し、述べ200人近い皆様に足を運んでいただきました。

地元産野菜を使ったスープを飲みながら交流のひとつ。会話も弾みます。

神奈川マチ・ビト図鑑

神奈川県より「多様な主体による協働事業」を受託して、神奈川県内のコラボレーションの事例や素敵な活動を行っているNPOや企業を紹介するWEBサイトとして新たに制作しました。

<http://kanagawa.etic.or.jp/>



NPOも数多くあり、地域に想いを持った企業も多いことから、コラボレーションが生まれやすい土壌が神奈川県には育まれています。

ご協力のお願い

認定NPO法人取得に向けてご協力のお願い

ETIC. は現在「認定 NPO 法人」取得を目指しております。

認定 NPO 法人となると、寄付された方も税制上の優遇を受けることができるようになり、また、それによって、私たちも活動の幅を広げると共に、より充実した社会成果に努めることができると考えております。

認定 NPO 法人の認証を得るには、年間 100 人の方から 3000 円以上の寄付を得ていることが条件となります。

今後とも皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付の方法

クレジットカード決済または銀行振込にて受け付けております。

* 利用可能カード：VISA カードもしくは MASTER カード

* 3000 円以上の寄付を頂ける方は info@etic.or.jp までご連絡ください。

* 寄付のお申し込みはこちらからお願いいたします。

<http://www.etic.or.jp/etic/kifu.html>

尚、本寄付での寄付金控除は、対象外となります（今年度 / 2012 年度）。認定の採択が承認される予定が早くて 2013 年 1 月を予定しております。そのため、本寄付による今年度の寄付金控除の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

2011 年度 EIP 受け入れ団体一覧（54 団体）

株式会社 エヌシーネットワーク
石井造園株式会社
セグウェイジャパン株式会社
カーボンフリーコンサルティング株式会社
株式会社ワーク・ライフバランス
シー・ブルーム株式会社
株式会社フランチャイズアドバンテージ
NPO 法人 ArrowArrow
エイズ孤児支援 NGO・PLAS
NPO 法人 プリッジフォースマイル
株式会社 HASUNA
NPO 法人 サービスグラント
横浜ビル株式会社
株式会社みんなのウェディング
株式会社フィッツコーポレーション
NPO 法人 農家のこせがれネットワーク
マテックス株式会社
株式会社 デジサーチ アンド アドバタイジング
横浜市資源リサイクル事業協同組合
遊線地設計有限公司
株式会社ガウディ
萬世リサイクルシステムズ株式会社
ロアジスジャパン株式会社
ケアプロ株式会社
株式会社 グローバルエージェンツ
NPO 法人 かものほしプロジェクト
NPO 法人 フローレンス
株式会社 ビジネスバンク
株式会社 ウェブクルーエージェンシー
株式会社 オリザ
株式会社 アースカラー
日本ブラインドサッカー協会
NPO 法人 atamista
株式会社 大川印刷
株式会社 カフェグループ・ドット・コム
株式会社 横浜ビル
スリール株式会社
横浜市技能文化会館
株式会社 ディー・オーエンタテインメント
特定非営利活動法人 フェアトレード・ラベル・ジャパン
公益財団法人 信頼資本財団
株式会社 DMR
AR アドバンステクノロジー株式会社
チョコレートデザイン株式会社
公益財団法人
インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢設立準備財団
NPO 法人 発達わんぱく会
NPO 法人 あっとほーむ
アクトインディ株式会社
株式会社 K2 インターナショナルジャパン
F i n d J P N
一般社団法人 エリア・イノベーション・アライアンス
特定非営利活動法人 NPO カタリバ
NGO ゆいまるハミングバース
(順不同)

震災復興リーダー支援プロジェクト協力企業・団体

Corning Incorporated Foundation	株式会社アエリア		NEC (日本電気株式会社)
 Give2Asia	株式会社アーガス		株式会社 フィッツコーポレーション
 GlobalGiving	花王株式会社		復興支援プロジェクト 「人生を変える一冊」
 Japan Society	株式会社 サイバーエージェント ・ベンチャーズ		FIT for charity
 Jolkona Foundation	株式会社サンブリッジ		株式会社 ブランコジャパン
 MINER Foundation	株式会社ジークレスト		株式会社ベネッセ ホールディングス
 Salesforce Foundation	株式会社 CK ブランニング (キクタス)		株式会社 ワーク・ライフバランス
 SVPI Social Venture Partners International	NPO 法人 G-net		株式会社 まちづくりエイティブ
 Eyes	株式会社ビジネスバンク		おいしい、そして、いのちへ。 Eat Well, Live Well. AJINOMOTO. 味の素株式会社
 SVP TOKYO	日本 GE 株式会社		株式会社損害保険ジャパン 損保ジャパン
 ACGI	在日米国 商工会議所		株式会社電通 mixi 株式会社ミクシィ

収支計算書

平成23年6月1日から平成24年5月31日まで

科 目	当期決算額
I 収入の部	
1 経常収入	
会費収入	10,795,000
事業収入(協賛、助成金含)	125,290,470
寄付金	0
その他収入	1,085,595
受取利息収入	310,333
震災復興リーダー支援プロジェクト寄付金	113,155,003
内閣府地域社会雇用創造事業基金取崩収入H23年度分	710,353,139
当期収入合計(A)	960,989,540
前期繰越収支差額	54,393,725
収入合計(B)	1,015,383,265
II 支出の部	
1 経常支出	
事業費(インターン・インキュ・コミュニティ展開・SVCその他)	115,465,478
震災復興リーダー支援プロジェクト	61,510,228
内閣府地域社会雇用創造事業(ETIC.人件費管理費抜)	529,813,483
事業費計	706,789,189
人件費	94,103,932
法定福利	17,388,939
一般管理費	40,163,575
人件費管理費計	151,656,446
内閣府地域社会雇用創造事業基金返納	59,920,834
2 その他固定資産取得支出	
長期前払費用	1,212,271
敷金支出	0
社会的企業支援基金積立支出	0
当期支出合計(C)	919,578,740
当期収支差額(A)-(C)	41,410,800
次期繰越収支差額(B)-(C)	95,804,525

- 2009年3月より開始した「内閣府地域社会雇用創造事業」が2012年3月末で、無事に終了し、5月末に清算まで完了しました。事業予算(基金)10億円に対し、事業実施経費約9億4,100万円となり約5,900万円を国庫に返納いたしました。
- 東日本大震災の復興に向けた取り組み「震災復興リーダー支援プロジェクト」に皆様より多大なご寄付をいただきました。本プロジェクトは、2014年3月まで実施予定としており、特別会計にて皆様から預かりましたご寄付を復興に役立てていきたいと思っております。尚、次期繰り越し差額に関しては、88,923,245円を震災復興リーダー支援プロジェクト予算に繰り入れ復興支援に取り組みます。

《個人寄付者の皆さま》

信頼資本財団およびETIC.の口座にご寄付いただいた個人の方のお名前を一部ご紹介いたします。下記以外にも多くの方々から、ご寄付をいただき、活動をしています。皆さまのご支援に厚く御礼申し上げます。

安青山峻丈／青山真弓／浅井峰光／東博暢／天辰次郎／安藤弥寿子／石垣俊典／石塚文子／居山正義／上田祐司／上野由布子
植村百合香／浦志矢香子／江崎礼子／大谷一真／大野喜朗／岡本浩一郎／小野真理／小山千鶴子／小原美和／笠原健治／鍋木孝昭
川上邦彦／岸周平／日下智子／栗本遼／国府田嘉昭／郡裕一／越陽二郎／古島啓裕／小淵康博／小室淑恵／小山雄高／酒井崇匠
桜井民雄／佐々木大輔／佐竹憲子／佐分利応貴／三保基陽／篠田直美／柴田憲佑／鈴木克洋／高市好人／高橋正憲／高松邦彦
田中孔一／田中信／田中拓郎／田中孝幸／竹内健太／谷隼太／佃真衣／角田美沙季／坪井聡／中澤数人／中原新太郎／中村亮太
中山太一／成田好孝／西本隆文／西村幸子／野島朋子／橋口忠臣／長谷明子／長谷川敦弥／塙創平／伴昭三／深谷英聖／甬守美沙
前原秀徳／松信章子／三澤博士／宮野愛希琴／森岡志門／森谷朋基森本佳子／山田進太郎／山本俊一／山本真衣／柳井孝之／吉田曜
脇智典／渡辺寿
他、多数

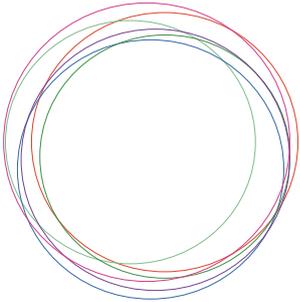
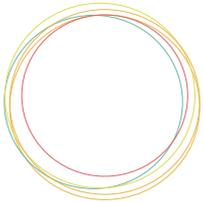
(2012年8月31日時点、五十音順・敬称略)

スタッフ募集

ETIC.では、随時スタッフを募集しております。

「地域」「震災復興」「若者」「社会起業」「人材育成」「起業家精神」などのキーワードにご関心のある方はぜひWEBをご覧ください。ご応募お待ちしております！





お問い合わせ先

特定非営利活動法人 ETIC. (エティック)

〒150-0041

東京都渋谷区神南 1-5-7 APPLE OHMI ビル 4階

Tel : 03-5784-2115 Fax : 03-5784-2116

Web : <http://www.etic.or.jp/>

E-mai : info@etic.or.jp